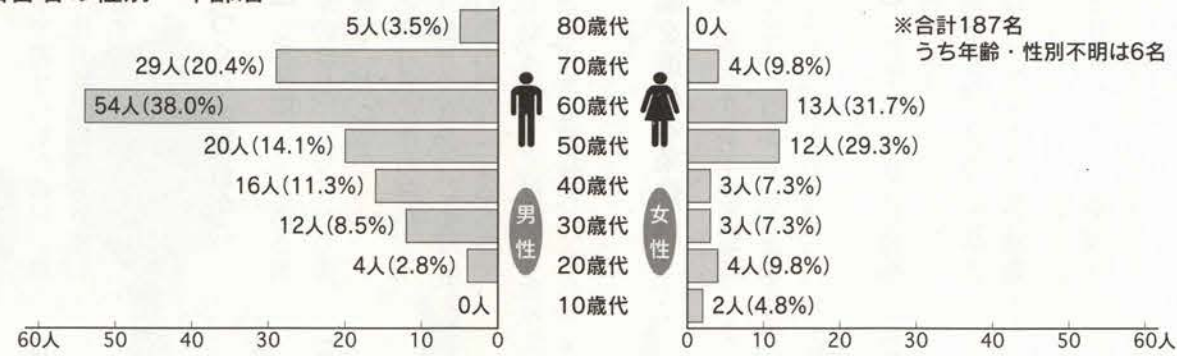


どうなる!?市町村合併

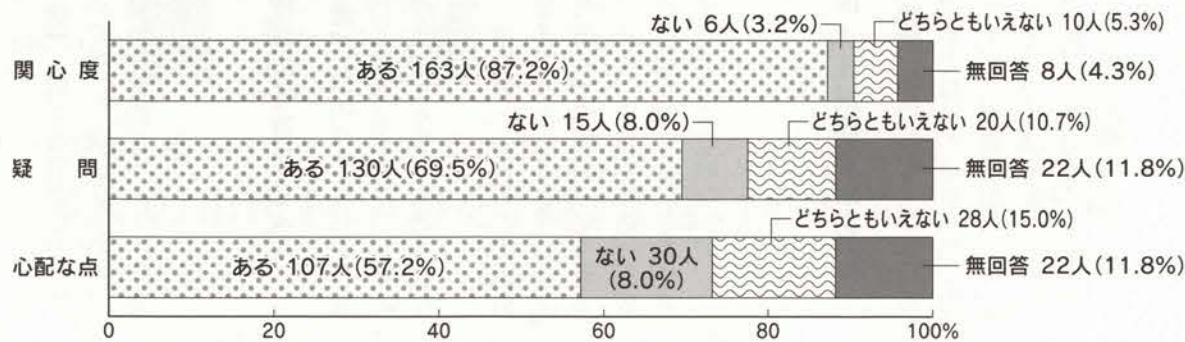
アンケート結果報告

市町村合併アンケート集計結果

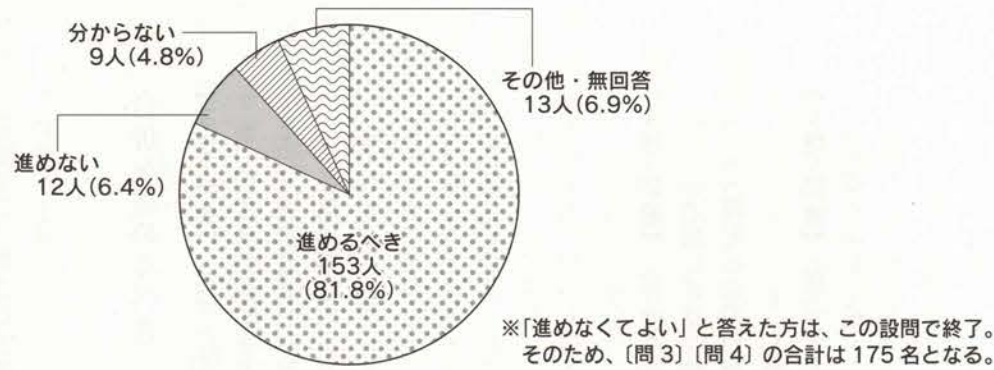
■回答者の性別・年齢層



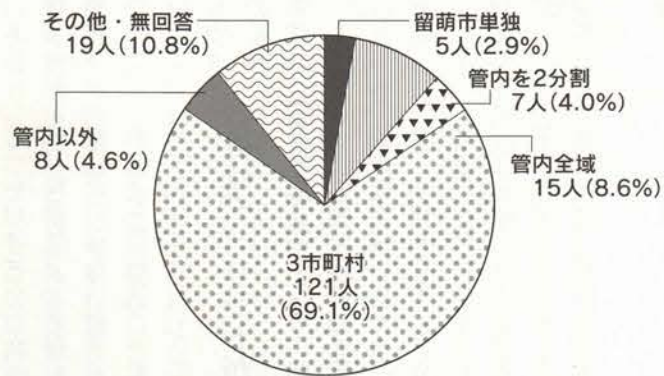
【問1】市町村合併問題について



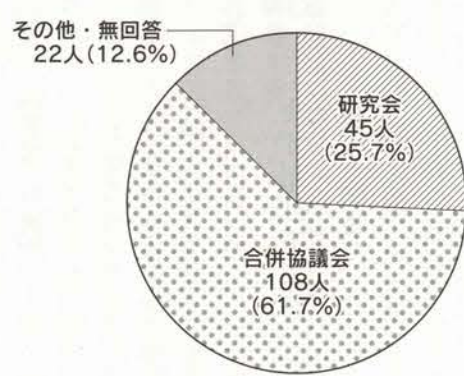
【問2】合併協議の必要性について



【問3】議論を進めるべき市町村について



【問4】組織体制について



実施方法	広報るもい2月号にアンケートを掲載し全世帯配布 (12,750世帯)
実施期間	平成15年2月1日～2月28日 (3月3日受付分まで集計)
回答数	187通 (回収率約1.5%)

留萌市が行った「市町村合併アンケート」の結果について報告します。このアンケートは、今年2月1日～2月28日 (3月3日受付分まで集計) を調査期間として、広報るもい2月号にアンケート用紙を掲載し、市内全世帯に配布 (約12,750部)。回答数は、187通 (電子メール18通を含む) で、回収率は約1.5%でした。

▼回答数について

今回のアンケート調査は、「合併問題」という市民にとって難しいテーマにも関わらず、広報誌面を使ったアンケートとインターネットを利用した回答を合わせて、187通 (回収率は約1.5%) の回答がありました。広報誌面を利用し、アンケート調査を行った自治体の例では、釧路市が回答数453通、回収率0.5% (平成13年9月実施)、幌延町は回答数108通、回収率3.8% (平成14年4月実施) でした。留萌市では、4年前に「広報誌に関して市民に意見を求めるアンケート」を行いました。その回答数は約80通という非常に少ないものでした。これらの例から比較した場合、留萌市民の市町村合併に対する関心の高さがうかがえます。

▼回答者の性別・年齢

男性、女性ともに60代がトップで、若い年齢層の回答が少数でした。広報誌面を利用したアンケート調査のため、年代別の回答割合は、広報誌の読者層 (高齢者と主婦層が多いと推定されます) と連動している可能性があります。

性別では、男性、女性の割合は3対1で、男性が多数でした。これは、広報誌の配布が各世帯に一冊 (回答用紙1枚) であるため、世帯主による回答が多かったのではないかと推測されます。

▼各設問の回答結果

【問1】

合併問題についての「関心度」「疑問点」「心配な点」では、「ある」という回答がとても高い割合となりました。

【問2】

合併の議論の必要性については、「合併協議を進めるべき」が、8割を超えました。

【問3】

合併協議を進めるべき相手市町村では、約7割が「留萌市、増毛町、小平町の3市町」を選びました。

【問4】

議論を進める組織体制は、「合併協議会」が60%を越え、「勉強会・研究会」が約25%となりました。